



お盆は空き家について話すチャンス！

集まったときに先々の相談をしてみませんか？

「自宅以外に空き家の草刈りするのは大変」「置いておいても誰も住まない」
そんな空き家をお持ちの方は、ハレホレ四賀で紹介してみませんか？



———＜ここが気になる！空き家のお悩み Q&A＞———

Q：トイレは汲取、壊れていて荷物が残ってるけど売れるの？

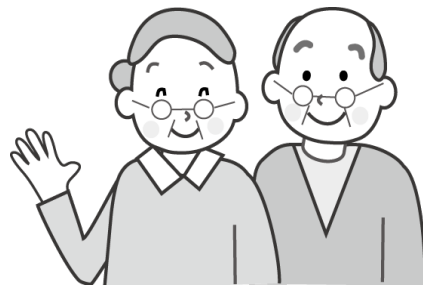
A：修理やリフォーム、片付けは買った人が自分でやります。
荷物はできる範囲で片付けていただければ大丈夫です。

Q：売ろうとしたら手数料はいくらかかるの？

A：800万円以下の家の不動産会社への仲介手数料は33万円です。
それ以外の費用もありますが、家の解体費用を考えると割安です。

Q：国に土地を引き渡す国庫帰属ができると聞いたけど？

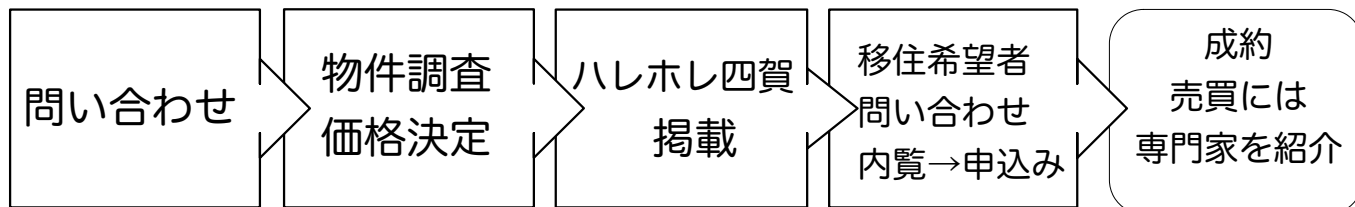
A：1筆ごとに1万4千円の審査手数料がかかります。
原則1筆ごとに20万円の負担金が必要です。
建物は解体し更地にする必要があります。
倒木で通れない、造林間伐されてない山林は受け付けてもらえません。
詳しくはお近くの法務局へご相談ください。



法務省相続土地
国庫帰属制度

- ・危険空き家を壊すなら松本市から50万円までの補助（条件や事前審査・予算に限りあり）
令和8年度分は受付を終了しています。（問合せ先：松本市住宅課 0263-34-3246）
- ・直せば住める家なら費用をかけて解体した更地より買い手がつきやすい傾向です。

売ってもいい・貸してもいい「空き家」お知らせください！



四賀地区空き家バンク登録のお申し込み・お問い合わせは・・・↓↓↓

四賀地区地域づくり協議会 TEL: 0263-64-3111

もしくは四賀支所窓口までお気軽にどうぞ♪



ハレホレ四賀
しがスマ

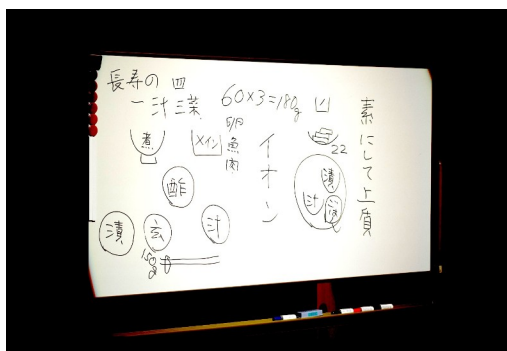
食の座談会「みのり座」特別講演会

横山タカ子さん講演会 「地域と郷土食の魅力」



7月2日、四賀支所ピナスホールにて料理研究家の横山タカ子さんの講演会が開催され、地区内外から200人を超える参加者が集まり、関心の高さがうかがえました。

講演では和食の大切さや食材の選び方・調理方法などの話がありました。漬物は食物繊維の働きで腸の中に長くとどまり、20種類以上の乳酸菌が腸内環境に良い影響を与えることや、漬物を加えた「一汁四菜」、「素にして上質」というキーワードが印象的でした。



< 講演会アンケート結果 >

地区内の参加者からは、食文化とは育てた野菜を食べることや保存食づくり行事など、料理にとどまらず暮らしの実践であり、その営みで育まれてきた地域文化を次世代へ受け継いでいきたいと考えていること、地区外の参加者からは四賀の食文化や暮らしを魅力として評価していることがわかりました。

みのり座LABOは、郷土料理を残すことだけを目的とする場ではありません。

「素にして上質」という視点を通して、四賀に残る暮らしや文化、人とのつながりを見つめ直し、地域重点プロジェクトが目指す持続可能な地域づくりを、食の分野から実践していく共創の場として育てていきたいと考えています。

食改☆旬だより おすすめ食材 < 8月 >

なす
カボチャ



ハレホレ協議会だより

【なす】おすすめの食べ方

麻婆なす・なす焼き浸し・蒸しなすの中華サラダ

【カボチャ】おすすめの食べ方

そばろ煮・和風グラタン・ツナマヨサラダ・冷製スープ

旬の味を楽しんでくださいね♪

< 提供：四賀地区食生活改善推進協議会 >



協議会だよりは、ハレホレ四賀のしが便りページからもご覧いただけます。

次号は9月1日発行です。どうぞお楽しみに！